

こすもす保育園における自己評価

平成 31 年度（令和元年度）

- A: たいへんよい
- B: よい
- C: 一部検討を要する
- D: 改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	評価の内容	評価	意見・改善策
保育目標について	保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	園の全体的な計画に基づいて、子どもの姿と照らし合わせながら子ども達に無理のない目標を立て、そこから年間計画→月案→週日案を作成、具体化し、実践を振り返り計画の見直しを行うこと（PDCA サイクル）を丁寧に行なうようにした。3年目を迎え、全体的に落ち着いた感があり、職員も経験値を増やし、安定してきたのを感じる。
	目標は、各施設や地域の特色を生かしているか	A	
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	目標は、前年度の反省を生かしているか	A	
	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	B	
保育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	子ども達一人ひとりが、安心してのびのびと自己を発揮できる生活環境の中で、戸外遊びを始め、コーナー遊びやごっこ遊び等、遊びを通して子ども達の自由な発想を受けとめ、さらに発展できるよう援助し、「遊び込む」機会を増やすことを意識し工夫を重ねた。
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	A	
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	B	
	素材・用具を適切に活用しているか	A	
	評価結果をもとに保育の改善に努めているか	B	
日課	1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか	B	各クラスでのそれぞれの流れが出来たが、子どもの様子、状況により変更することも柔軟に考えていけるようにした。
行事	行事の種類や実施回数は適切か	A	運動会は「オリンピック」をテーマにし、オリジナルのエンブレムを考えたり聖火台を作り、オリンピックの雰囲気工夫した。 「主体的、対話的で深い学び」につながる活動を意識しながら、子ども達に「させる」「見せることを目的とする」活動ではなく、①普段の活動の積み重ね②集団だからこそ味わえる勝敗のある競技③親子での楽しいふれあいを盛り込んだ。発表会では保護者の意見を取り入れ、入場に新しい方法を取り入れたが、保護者に協力頂き、スムーズに行うことが出来た。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	A	
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	B	
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	保護者の願いや意見を取り入れているか	A	

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件になっているか

項目	評価の内容	評価	意見・改善策		
経営・組織	分掌・体制	能率的・合理的な運営組織になっているか	B	保育士の同僚性も高まり、仕事を分担し、協力し合える関係が出来てきた。しかし、係によっては内容吟味が必要なものもあり、今後も職員の意見を取り入れながら、見直していきたい。	
		職務内容が明確で、協働できる体制になっているか	A		
		職員の配置は適材・適所か	B		
		係りや仕事の分担・割り当ては適切か	B		
	運営	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A		
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	B		
		打合せ回数、時間、内容は適切か	A		
	年齢別・クラス運営	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	A		年長9名、年中8名、年少6名と幼児クラスの人数が増え、縦割りりと横割りの日を作って、それぞれの活動の充実に配慮した。異年齢が共に生活する中で、異年齢ならではの育ち合う姿をたくさん見ることが出来た。 0、1、2歳児についても各クラスでの遊びの充実に注目し、子ども達の発達を保障する環境づくりに配慮した。
		年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか	A		
		年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	B		
		同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実に図っているか	A		
		意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか	B		
		評価、資料（諸記録）を集積しているか	B		
	保健・安全指導	年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか	B		毎月の避難訓練を通して、事故や災害について知る事、様々な場面を想定し、どのように対応していくか、職員同士で話し合ったり、実践してみることを大切にしました。 保健面では、日常の健康観察、感染症対策（手洗い、うがいの励行）の徹底に努めた。
		避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A		
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	A		
		乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか	B		
	研究・研修	園内研究・研修	研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか		A
園内研修の計画・運営は適切か			A		
研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか			B		
研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか			B		
園外研修		各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実に図っているか	A		
		各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	B		

項目	評価の内容	評価	意見・改善策	
情報について	乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか	A	個人情報については職員に周知し、重要書類を鍵付きロッカーにしまう等、取扱いは厳重に注意している。	
	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	A		
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか	A		
施設・設備	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	B	施設内外で危険を感じた場合は、すぐに改善に努めた。遊具、用具の保管についても個人でも日頃から整頓すると共に係が全体を把握し、定期的に整理、整頓と全体への周知を徹底できるよう目指した。	
	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか	B		
	不審者等に対応する周到な配慮を行っているか	B		
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	B		
経理 出納	各種会計を適正かつ適切に処理しているか	B	適正処理に努めた。が、給食費の実費徴収に伴い、現金の取扱い業務が増えた為、煩雑になった部分があり、今後検討していきたい。	
開かれた保育園づくり	地域・他施設との交流	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか	B	新川小の体育館をお借りしての運動会も2回目となり、打合せ、連絡等順調に行うことが出来た。幼児クラスの子ども達が、小学校の運動会や発表会を見学に行き、卒園児の活躍を見ることが出来た。小学校とは学校便り、園だよりを交換し合い、情報共有も定着してきた。姉妹園の新川西さくらこ認定こども園とも遠足、人形劇観劇等の折に交流を深めている。
		他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	A	
		指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	
		参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか	B	
	日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか	B		
	保護者支援	参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか	A	
		保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	B	
		乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか	B	
地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか		A		

項目	評価の内容	評価	意見・改善策		
開かれた保育園づくり	子育て支援の推進	地域の子育てセンターとして、保育室等を開放しているか	A	子育て相談は、常時受け付けている。子育て支援として園開放の日を設定し、チラシにて見学者や近隣の店舗に周知を図り、地域のお子さんや保護者らが園を知る機会を設けた。保護者には、送迎時、お子様の体調や怪我等、変わりがあれば伝え合うことを心掛けた。	
		「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	B		
		職員による育児に関わる「子育て相談」は充実しているか	A		
		医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	B		
	情報の発信	園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A		園だより、クラスだより、給食だより、給食献立の配布の他、ホームページにて毎月の予定や子ども達の様子、行事の様子、その他の情報等発信している。
		行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A		
	外部評価	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	B		第三者評価について、研修に参加し、認識を深めた。今後、準備を整えていきたいと考えている。保護者から意見、要望等あった場合は、真摯に受けとめ、職員皆で話し合い、対応する姿勢でいる。
		地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A		